

まちがいさがし① 加減法

中2／連立方程式 ひき算の符号のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり ひき算では、引く式の全部の項の符号が変わる

- (1) 引く式は かっこをつけて考える $(3x + 2y) - (3x - y)$
- (2) かっこをはずすと 全部の項の符号が変わる $\rightarrow 3x + 2y - 3x + y$
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す（操作を書いた行も 1行と数える）
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちは加減法で解きました。ひき算の符号に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を見つけて直し、答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} x + 5y = -4 \\ x - 3y = 4 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $(x + 5y) - (x - 3y) = -8$
- (2) かっこをはずす $x + 5y - x - 3y = -8$
- (3) 整理 $2y = -8$
- (4) $y = -4$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} 3x + 2y = 20 \\ -2x + 2y = -10 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ① - ② をして y を消す
- (2) 左辺 $(3x + 2y) - (-2x + 2y) = 5x$
- (3) 右辺 $20 - (-10) = 10$
- (4) まとめると $5x = 10$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} 2x + 2y = 4 \\ 2x - y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $y = -9$
- (2) $y = -9$
- (3) ①に入れて $2x - 18 = 4$
- (4) $x = 11$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} 3x + y = 14 \\ -x + y = -2 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $4x = 12$
- (2) $x = 3$
- (3) ①に入れて $9 + y = 14$
- (4) $y = 5$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ 引く式の全部の項の符号を見た ☐ 「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし② 代入法

中2/連立方程式 かつこのはずし方のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひびけ _____

きまり かつこをはずすときは、中の全部の項に 前の数をかける

- (1) 前が正の数るとき $3(2y - 1) = 6y - 3$ (-1 にも 3 をかける)
- (2) 前が $-$ のとき $-2(y - 3) = -2y + 6$ (中の符号が 全部かわる)
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も 1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちは代入法で解きました。かつこのはずし方に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を直して、解きなおしましょう。

問1
$$\begin{cases} x = 4y + 7 \\ 2x - y = -7 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ②に代入 $2(4y + 7) - y = -7$
- (2) かつこをはずす $8y + 7 - y = -7$
- (3) 整理 $7y = -14$
- (4) $y = -2$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} x = y + 2 \\ -2x - 2y = -16 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ②に代入 $-2(y + 2) - 2y = -16$
- (2) かつこをはずす $-2y + 4 - 2y = -16$
- (3) 整理 $-4y = -20$
- (4) $y = 5$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} y = 2x - 3 \\ -3x - 3y = -27 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①を使う $y = 2x - 3$
- (2) ②に代入 $-3x - 3(2x - 3) = -27$
- (3) かつこをはずす $-3x - 6x - 9 = -27$
- (4) 整理 $-9x = -18$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} y = -x + 8 \\ x + 3y = 20 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①を使う $y = -x + 8$
- (2) ②に代入 $x + 3(-x + 8) = 20$
- (3) かつこをはずす $x - 3x + 8 = 20$
- (4) 整理 $-2x = 12$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ かつこの中の全部の項を見た ☐ 「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし③ 係数をそろえる

中2/連立方程式 右辺のかけ忘れを見つけて直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 式を何倍かするとき、左辺も右辺も 同じ数をかける

- (1) ①を3倍する $2x + y = 4 \rightarrow 6x + 3y = 12$ (右辺の4も3倍)
- (2) 何倍かして 消したい文字の係数をそろえて、たすかひく
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺とくらべる欄

友だちは式を何倍かして、加減法で解きました。右辺に、まちがいが1か所あります。
上の式を①、下の式を②とよびます。何倍かした式は ①×2 のように書いてあります。

問1
$$\begin{cases} 2x + 2y = -4 \\ 3x - y = 18 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①×3 $6x + 6y = -4$
- (2) ②×2 $6x - 2y = 36$
- (3) ①×3-②×2 $8y = -40$
- (4) $y = -5$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} 4x + 3y = -22 \\ -3x - 5y = 22 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①×5 $20x + 15y = -110$
- (2) ②×3 $-9x - 15y = 22$
- (3) ①×5+②×3 $11x = -88$
- (4) $x = -8$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} x + 3y = -7 \\ -x - 5y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) y を消すために ①×5 と ②×3 をつくる
- (2) ①×5 $5x + 15y = -35$
- (3) ②×3 $-3x - 15y = 13$
- (4) ①×5+②×3 $2x = -22$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} 3x + y = -24 \\ 2x + 2y = -24 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) x を消すために ①×2 と ②×3 をつくる
- (2) ①×2 $6x + 2y = -24$
- (3) ②×3 $6x + 6y = -72$
- (4) ①×2-②×3 $-4y = 48$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ 右辺にも 同じ数をかけたか見た ☐ 「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし④ 理由も選ぶ

中2／連立方程式 まちがいの行と理由を選んで直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 友だちの解き方には、まちがいが1か所あります

- (1) 1行めから順に見て、はじめて正しくなくなる行を見つける（操作を書いた行も 1行と数える）
- (2) 理由を選ぶ ア 符号（引く・かっこの－） イ かけ忘れ（かっこの中・右辺） ウ 計算まちがい
- (3) その行を正しく直して、正しい答えを出す
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちの解き方には、まちがいが1か所あります。まちがえた行と理由を見つけて、解きなおしましょう。
上の式を①、下の式を②とよびます。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} 3x + y = 11 \\ 3x - 2y = 5 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①－② $(3x + y) - (3x - 2y) = 6$
- (2) かっこをはずす $3x + y - 3x - 2y = 6$
- (3) 整理 $-y = 6$
- (4) $y = -6$

まちがえたのは ☐ 行め 理由 ☐ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} 3x + 3y = 6 \\ 4x - 3y = 36 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①＋② $7x = 42$
- (2) $x = 6$
- (3) ①に入れて $15 + 3y = 6$
- (4) $y = -3$

まちがえたのは ☐ 行め 理由 ☐ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} 3x + 3y = -6 \\ -4x - 5y = 11 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①×4 $12x + 12y = -6$
- (2) ②×3 $-12x - 15y = 33$
- (3) ①×4＋②×3 $-3y = 27$
- (4) $y = -9$

まちがえたのは ☐ 行め 理由 ☐ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} x + 3y = 7 \\ x - 5y = -9 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①－② $8y = 16$
- (2) $y = 2$
- (3) ①に入れて $x + 6 = 7$
- (4) $x = 2$

まちがえたのは ☐ 行め 理由 ☐ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ 1行めから見た ☐ 理由を選んだ ☐ 「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし⑤ まちがいはあるかな？

中2／連立方程式 まちがいがない解き方も まぜてある 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり まちがいが「なし」の問題もある。行を疑う前に 答えを 確かめる

- (1) 1行めから順に、前の行と 同じ意味か 見る（操作を書いた行も 1行）。なければ「なし」
- (2) 「なし」の問題は「その行を直すと」の欄を 空欄にしてよい
- (3) どの問題も 正しい答えの $x \cdot y$ は書く（友だちが片方だけのときは 残りも自分で出す）
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちの解き方には、まちがいがある問題と、ない問題が まざっています。

上の式を①、下の式を②とよびます。ある問題は行の番号を書いて直し、ない問題は「なし」と書く。

問1
$$\begin{cases} 2x + 3y = 3 \\ 2x - y = 15 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $(2x + 3y) - (2x - y) = -12$
- (2) かつこをはずす $2x + 3y - 2x + y = -12$
- (3) 整理 $4y = -12$
- (4) $y = -3$

まちがえたのは 行め（なければ「なし」）
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} y = -x - 5 \\ -x - 3y = 3 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ②に代入 $-x - 3(-x - 5) = 3$
- (2) かつこをはずす $-x + 3x + 15 = 3$
- (3) 整理 $2x = -12$
- (4) $x = -6$

まちがえたのは 行め（なければ「なし」）
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} 2x + 5y = 7 \\ 2x + 3y = 5 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) y を消すために ① $\times 3$ と ② $\times 5$ をつくる
- (2) ① $\times 3$ $6x + 15y = 21$
- (3) ② $\times 5$ $10x + 15y = 5$
- (4) ① $\times 3$ -② $\times 5$ $-4x = 16$

まちがえたのは 行め（なければ「なし」）
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} 4x + y = 27 \\ 2x + y = 15 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $2x = 12$
- (2) $x = 6$
- (3) ①に入れて $24 + y = 27$
- (4) $y = 5$

まちがえたのは 行め（なければ「なし」）
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ 前の行と くらべた ☐ 「なし」も「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし① 加減法【こたえ】

中2／連立方程式 ひき算の符号のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり ひき算では、引く式の全部の項の符号が変わる

- (1) 引く式は かっこをつけて考える $(3x + 2y) - (3x - y)$
- (2) かっこをはずすと 全部の項の符号が変わる $\rightarrow 3x + 2y - 3x + y$
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も 1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺とくらべる欄

友だちは加減法で解きました。ひき算の符号に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を見つけて直し、答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} x + 5y = -4 \\ x - 3y = 4 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $(x + 5y) - (x - 3y) = -8$

(2) **かっこをはずす** $x + 5y - x - 3y = -8$

(3) 整理 $2y = -8$

(4) $y = -4$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$$x + 5y - x + 3y = -8$$

確かめ ① $1 + 5 \times (-1) = -4$

確かめ ② $1 - 3 \times (-1) = 4$

正しい答え $x =$ 1 $y =$ -1

問3
$$\begin{cases} 3x + 2y = 20 \\ -2x + 2y = -10 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ① - ② をして y を消す

(2) 左辺 $(3x + 2y) - (-2x + 2y) = 5x$

(3) **右辺** $20 - (-10) = 10$

(4) まとめて $5x = 10$

まちがえたのは 3 行め

その行を直すと

$$20 - (-10) = 30$$

確かめ ① $3 \times 6 + 2 \times 1 = 20$

確かめ ② $-2 \times 6 + 2 \times 1 = -10$

正しい答え $x =$ 6 $y =$ 1

問2
$$\begin{cases} 2x + 2y = 4 \\ 2x - y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $y = -9$

(2) $y = -9$

(3) ①に入れて $2x - 18 = 4$

(4) $x = 11$

まちがえたのは 1 行め

その行を直すと

$$3y = -9$$

確かめ ① $2 \times 5 + 2 \times (-3) = 4$

確かめ ② $2 \times 5 - (-3) = 13$

正しい答え $x =$ 5 $y =$ -3

問4
$$\begin{cases} 3x + y = 14 \\ -x + y = -2 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $4x = 12$

(2) $x = 3$

(3) ①に入れて $9 + y = 14$

(4) $y = 5$

まちがえたのは 1 行め

その行を直すと

$$4x = 16$$

確かめ ① $3 \times 4 + 2 = 14$

確かめ ② $-4 + 2 = -2$

正しい答え $x =$ 4 $y =$ 2

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

まちがえた行は、はじめて正しくなくなる行。符号は 文字の項にも 右辺にも 変え忘れる。
直した行は 書き方がちがっても 正しければ ○。例 問2 の 1行めは「 $3y = -9$ 」でも「 $y = -3$ 」でも ○。
答えは x と y の両方が合って ○。「確かめ」に 元の式に入れた計算が書けていれば 十分。

まちがいさがし② 代入法【こたえ】

中2／連立方程式 かつこのはずし方のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひびけ _____

きまり かつこをはずすときは、中の全部の項に 前の数をかける

- (1) 前が正の数るとき $3(2y - 1) = 6y - 3$ (-1 にも 3 をかける)
- (2) 前が $-$ のとき $-2(y - 3) = -2y + 6$ (中の符号が 全部かわる)
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も 1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺とくらべる欄

友だちは代入法で解きました。かつこのはずし方に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を直して、解きなおしましょう。

問1
$$\begin{cases} x = 4y + 7 \\ 2x - y = -7 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ②に代入 $2(4y + 7) - y = -7$

(2) **かつこをはずす** $8y + 7 - y = -7$

(3) 整理 $7y = -14$

(4) $y = -2$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$8y + 14 - y = -7$

確かめ ① 左辺 -5 右辺 $4 \times (-3) + 7 = -5$

確かめ ② $2 \times (-5) - (-3) = -7$

正しい答え $x =$ -5 $y =$ -3

問3
$$\begin{cases} x = y + 2 \\ -2x - 2y = -16 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ②に代入 $-2(y + 2) - 2y = -16$

(2) **かつこをはずす** $-2y + 4 - 2y = -16$

(3) 整理 $-4y = -20$

(4) $y = 5$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$-2y - 4 - 2y = -16$

確かめ ① 左辺 5 右辺 $3 + 2 = 5$

確かめ ② $-2 \times 5 - 2 \times 3 = -16$

正しい答え $x =$ 5 $y =$ 3

問2
$$\begin{cases} y = 2x - 3 \\ -3x - 3y = -27 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①を使う $y = 2x - 3$

(2) ②に代入 $-3x - 3(2x - 3) = -27$

(3) **かつこをはずす** $-3x - 6x - 9 = -27$

(4) 整理 $-9x = -18$

まちがえたのは 3 行め

その行を直すと

$-3x - 6x + 9 = -27$

確かめ ① 左辺 5 右辺 $2 \times 4 - 3 = 5$

確かめ ② $-3 \times 4 - 3 \times 5 = -27$

正しい答え $x =$ 4 $y =$ 5

問4
$$\begin{cases} y = -x + 8 \\ x + 3y = 20 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①を使う $y = -x + 8$

(2) ②に代入 $x + 3(-x + 8) = 20$

(3) **かつこをはずす** $x - 3x + 8 = 20$

(4) 整理 $-2x = 12$

まちがえたのは 3 行め

その行を直すと

$x - 3x + 24 = 20$

確かめ ① 左辺 6 右辺 $-2 + 8 = 6$

確かめ ② $2 + 3 \times 6 = 20$

正しい答え $x =$ 2 $y =$ 6

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

まちがえた行は、はじめて正しくなくなる行。かつこの中の全部の項に 前の数をかけたかを見る。

前が $-$ なら 中の符号が全部かわる。直した行は 書き方がちがっても 正しければ ○。

答えは x と y の両方が合って ○。「確かめ」に 元の式に入れた計算が書けていれば 十分。

まちがいさがし③ 係数をそろえる【こたえ】

中2／連立方程式 右辺のかけ忘れを見つけて直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 式を何倍かするとき、左辺も右辺も 同じ数をかける

- (1) ①を3倍する $2x + y = 4 \rightarrow 6x + 3y = 12$ (右辺の 4 も 3倍)
- (2) 何倍かして 消したい文字の係数をそろえて、たすか ひく
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も 1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちは式を何倍かして、加減法で解きました。右辺に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。何倍かした式は ①×2 のように書いてあります。

問1
$$\begin{cases} 2x + 2y = -4 \\ 3x - y = 18 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①×3 $6x + 6y = -4$
- (2) ②×2 $6x - 2y = 36$
- (3) ①×3-②×2 $8y = -40$
- (4) $y = -5$

まちがえたのは 1 行め

その行を直すと

$$6x + 6y = -12$$

確かめ ① $2 \times 4 + 2 \times (-6) = -4$

確かめ ② $3 \times 4 - (-6) = 18$

正しい答え $x =$ 4 $y =$ -6

問3
$$\begin{cases} 4x + 3y = -22 \\ -3x - 5y = 22 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①×5 $20x + 15y = -110$
- (2) ②×3 $-9x - 15y = 22$
- (3) ①×5+②×3 $11x = -88$
- (4) $x = -8$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$$-9x - 15y = 66$$

確かめ ① $4 \times (-4) + 3 \times (-2) = -22$

確かめ ② $-3 \times (-4) - 5 \times (-2) = 22$

正しい答え $x =$ -4 $y =$ -2

問2
$$\begin{cases} x + 3y = -7 \\ -x - 5y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) y を消すために ①×5 と ②×3 をつくる
- (2) ①×5 $5x + 15y = -35$
- (3) ②×3 $-3x - 15y = 13$
- (4) ①×5+②×3 $2x = -22$

まちがえたのは 3 行め

その行を直すと

$$-3x - 15y = 39$$

確かめ ① $2 + 3 \times (-3) = -7$

確かめ ② $-2 - 5 \times (-3) = 13$

正しい答え $x =$ 2 $y =$ -3

問4
$$\begin{cases} 3x + y = -24 \\ 2x + 2y = -24 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) x を消すために ①×2 と ②×3 をつくる
- (2) ①×2 $6x + 2y = -24$
- (3) ②×3 $6x + 6y = -72$
- (4) ①×2-②×3 $-4y = 48$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$$6x + 2y = -48$$

確かめ ① $3 \times (-6) + (-6) = -24$

確かめ ② $2 \times (-6) + 2 \times (-6) = -24$

正しい答え $x =$ -6 $y =$ -6

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

まちがえた行は、右辺をかけ忘れた式 (左辺だけ何倍かして、右辺は もとのまま)。
直した行は 書き方がちがっても 正しければ ○。たすかひくかは そろえた係数の符号で決まる。
答えは x と y の両方が合って ○。「確かめ」に 元の式に入れた計算が書けていれば 十分。

まちがいさがし④ 理由も選ぶ【こたえ】

中2／連立方程式 まちがいの行と理由を選んで直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 友だちの解き方には、まちがいが1か所あります

- (1) 1行めから順に見て、はじめて正しくなくなる行を見つける（操作を書いた行も 1行と数える）
- (2) 理由を選ぶ ア 符号（引く・かっこの-） イ かけ忘れ（かっこの中・右辺） ウ 計算まちがい
- (3) その行を正しく直して、正しい答えを出す
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちの解き方には、まちがいが1か所あります。まちがえた行と理由を見つけて、解きなおしましょう。
上の式を①、下の式を②とよびます。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} 3x + y = 11 \\ 3x - 2y = 5 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $(3x + y) - (3x - 2y) = 6$

(2) **かっこをはずす** $3x + y - 3x - 2y = 6$

(3) 整理 $-y = 6$

(4) $y = -6$

まちがえたのは 2 行め 理由 ア ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算

その行を直すと

$3x + y - 3x + 2y = 6$

確かめ ① $3 \times 3 + 2 = 11$

確かめ ② $3 \times 3 - 2 \times 2 = 5$

正しい答え x = 3 y = 2

問3
$$\begin{cases} 3x + 3y = 6 \\ 4x - 3y = 36 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①+② $7x = 42$

(2) $x = 6$

(3) ①に入れて $15 + 3y = 6$

(4) $y = -3$

まちがえたのは 3 行め 理由 ウ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算

その行を直すと

$18 + 3y = 6$

確かめ ① $3 \times 6 + 3 \times (-4) = 6$

確かめ ② $4 \times 6 - 3 \times (-4) = 36$

正しい答え x = 6 y = -4

問2
$$\begin{cases} 3x + 3y = -6 \\ -4x - 5y = 11 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①×4 $12x + 12y = -6$

(2) ②×3 $-12x - 15y = 33$

(3) ①×4+②×3 $-3y = 27$

(4) $y = -9$

まちがえたのは 1 行め 理由 イ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算

その行を直すと

$12x + 12y = -24$

確かめ ① $3 \times 1 + 3 \times (-3) = -6$

確かめ ② $-4 \times 1 - 5 \times (-3) = 11$

正しい答え x = 1 y = -3

問4
$$\begin{cases} x + 3y = 7 \\ x - 5y = -9 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $8y = 16$

(2) $y = 2$

(3) ①に入れて $x + 6 = 7$

(4) $x = 2$

まちがえたのは 4 行め 理由 ウ ア 符号
イ かけ忘れ
ウ 計算

その行を直すと

$x = 1$

確かめ ① $1 + 3 \times 2 = 7$

確かめ ② $1 - 5 \times 2 = -9$

正しい答え x = 1 y = 2

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

まちがえた行は、はじめて正しくなくなる行（その行までは正しい）。答えが整数でも まちがいのことがある。

理由は ア 符号（引く・かっこの-）／イ かけ忘れ（かっこの中・右辺）／ウ 計算まちがい。

直した行は 書き方がちがっても 正しければ ○。「確かめ」に 元の式に入れた計算が書けていれば 十分。

まちがいさがし⑤ まちがいはあるかな？【こたえ】

なまえ _____

中2／連立方程式 まちがいがない解き方も まぜてある 4問

ひづけ _____

きまり まちがい「なし」の問題もある。行を疑う前に 答えを 確かめる

- (1) 1行めから順に、前の行と 同じ意味か 見る（操作を書いた行も 1行）。なければ「なし」
- (2) 「なし」の問題は「その行を直すと」の欄を 空欄にしてよい
- (3) どの問題も 正しい答えの $x \cdot y$ は書く（友だちが片方だけのときは 残りも自分で出す）
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちの解き方には、まちがいがある問題と、ない問題が まざっています。

上の式を①、下の式を②とよびます。ある問題は行の番号を書いて直し、ない問題は「なし」と書く。

問1
$$\begin{cases} 2x + 3y = 3 \\ 2x - y = 15 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $(2x + 3y) - (2x - y) = -12$
- (2) かつこをはずす $2x + 3y - 2x + y = -12$
- (3) 整理 $4y = -12$
- (4) $y = -3$

まちがえたのは なし 行め（なければ「なし」）

その行を直すと

まちがいなし（空欄でよい）

確かめ ① $2 \times 6 + 3 \times (-3) = 3$

確かめ ② $2 \times 6 - (-3) = 15$

正しい答え $x =$ 6 $y =$ -3

問3
$$\begin{cases} y = -x - 5 \\ -x - 3y = 3 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ②に代入 $-x - 3(-x - 5) = 3$
- (2) かつこをはずす $-x + 3x + 15 = 3$
- (3) 整理 $2x = -12$
- (4) $x = -6$

まちがえたのは なし 行め（なければ「なし」）

その行を直すと

まちがいなし（空欄でよい）

確かめ ① 左辺 1 右辺 $-(-6) - 5 = 1$

確かめ ② $-(-6) - 3 \times 1 = 3$

正しい答え $x =$ -6 $y =$ 1

問2
$$\begin{cases} 2x + 5y = 7 \\ 2x + 3y = 5 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) y を消すために ① $\times 3$ と ② $\times 5$ をつくる
- (2) ① $\times 3$ $6x + 15y = 21$
- (3) ② $\times 5$ $10x + 15y = 5$
- (4) ① $\times 3$ -② $\times 5$ $-4x = 16$

まちがえたのは 3 行め（なければ「なし」）

その行を直すと

$10x + 15y = 25$

確かめ ① $2 \times 1 + 5 \times 1 = 7$

確かめ ② $2 \times 1 + 3 \times 1 = 5$

正しい答え $x =$ 1 $y =$ 1

問4
$$\begin{cases} 4x + y = 27 \\ 2x + y = 15 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $2x = 12$
- (2) $x = 6$
- (3) ①に入れて $24 + y = 27$
- (4) $y = 5$

まちがえたのは 4 行め（なければ「なし」）

その行を直すと

$y = 3$

確かめ ① $4 \times 6 + 3 = 27$

確かめ ② $2 \times 6 + 3 = 15$

正しい答え $x =$ 6 $y =$ 3

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

まちがいがない問題は「なし」。「確かめ」で ①② とも成り立てば 友だちの答えは 正しい。

ない問題に 無理に直した式を書くと $\times$ （直す欄は 空欄でよい）。ある問題は、はじめて正しくなくなる行の番号を書く。

この枚は「なし」の問題が 2問 まざっている。正しい答えの $x \cdot y$ は どの問題も書く。